

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1215		
科目名	自主創造の基礎 1		
担当教員	小泉 夏子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 2		
講義室	1306	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP2-B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP8-M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A2 異文化適応（10%） B1 自己啓発（30%） C1 倫理的思考・社会認識（5%） F1 探求と論拠（5%） F2 課題解決（5%） H1 論理的思考（5%） H2 批判的思考（5%） K1 ライティング・コミュニケーション（15%） K2 オラル・コミュニケーション（15%） M1 省察力（5%）		
教員の実務経験	本科目では担当教員に加え、外部講師の方々にもご登壇いただきます。例えば、スポーツビジネスを専門とした民間企業現役社員、ビジネスマナー講習を大手企業に実践教育されている現役講師、日本大学の歴史に対して造詣深い専門家、といった社会の第一線で活躍されている講師をお迎えし、日本大学スポーツ科学部の学生が求められる基本的知識、振舞い方、生きて行くために必要な心構え、さらにスポーツ科学領域で活用出来るといった事柄に対して、講師の方々の知見と経験を活かした講義を行います。（第10回、第11回、第12回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット能力開発の目標ステージとの対応 2進期～3発展期		
科目概要・キーワード	本学の教育理念である「自主創造」の形成のための基礎的教育科目であり、本学が目指す卓越した創造力・判断力・コミュニケーション力を持つ人間力豊かな、自主創造型パーソンを育成するための科目です。本講義では、学びにおける自主性を養い、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標とします。まず日本大学について学び、そこで学ぶことの意味を知り、大学で学ぶ姿勢を身に付けるために、レポート作成の方法、グループワーク、プレゼンテーションについて学び、実践することで自主的に学ぶ姿勢を身に付けます。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード：スタディスキル・自校教育・社会貢献		
授業の趣旨	■副題 日本大学スポーツ科学部の学生がまず身に付けるべき学修態度を学ぶ ■授業の目的 日本大学での学びを完成させるためにそのスキルを修得すること、また大学の成り立ちを知り、大学への帰属意識や社会貢献意識を養いながら、多様な価値観をもつ他者との触れ合いやグループワークを通じた協働により、コミュニケーション力の向上をはかること、さらに競技スポーツに関わる諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、解決していくことのできる基礎的能力を身に付けることを目的としています（「競技スポーツ学を学ぶ資格」を付与するための基礎を作る）。 ■授業のポイント 日本大学の教育理念である「自主創造」の名称を有する本科目を学ぶということは、「日本大学マインド」を備えた人を目指すことと言えます。本授業ではスポーツ科学部生が修得すべきマインドや能力開発のために、レポート作成の方法、コミュニケーション		

	ションの実践、プレゼンテーションの方法、日本大学の歴史、地域貢献、スポーツ科学における反省的实践、将来を見据えたキャリアデザインなどを学んでいきます。これら学ぶ領域や活動体験を生かし、自主創造3つの構成要素「1、自ら学ぶ」「2、自ら考える」「3、自ら道をひらく」ことが出来るようになります。																
総合到達目標	■自主創造3つの構成要素「自ら学ぶ、自ら考え、自ら道をひらく」力を養うために、日本大学の成り立ちを知り、大学への帰属意識や社会貢献意識を養いながら、多様な価値観をもつ他者との触れ合いの大切さを理解し、グループワークを通じた協働により、コミュニケーション力の向上を修得することや、競技スポーツに関わる諸問題や課題を発見し、それに対する多面的な情報収集・分析を通して、解決していくことのできる基礎的能力を身に付ける(「競技スポーツ学を学ぶ資格」を付与するための基礎を形成する)。 ・日本大学とスポーツ科学部について帰属意識を有し説明することができる。(第1回～第12回、第15回)「知識」 ・社会の一般的なマナーに従ってコミュニケーション(情報提供・情報共有)をとることができる。(第2回～第4回)「態度」 ・学びの方法論を学習し、その方法論に基づいて実施できる。(第5回～第10回)「知識・技能」 ・他者との関わり合いのなかで積極的に参加することができる。(第2回～第4回、第13回～第14回)「態度」																
成績評価方法	■リアクションペーパー14回(50%)：適用ルーブリックB 1、M 1、K 1 (評価の観点) 授業内容を踏まえた問いに対して明確に述べられているかを評価します。 (フィードバック方法) 後日「添削」し返却します。 ■授業参加度(10%)：適用ルーブリックA 2、B 1、C 1、M 1、K 2 (評価の観点) 発言、質問、意見交換、グループワークでの貢献度など授業構築への参加度を評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に「講評」を行います。 ■レポート5回(25%)：適用ルーブリックF 1、F 2、H 1、H 2、K 1 (評価の観点) 授業内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるかを評価します。 (フィードバック方法) 後日「添削」もしくは「出題意図の説明」を行います。 ■ポートフォリオ(15%)：適用ルーブリックB 1、M 1 (評価の観点) 授業ファイルを回収し、適切な自宅学習がなされているかを確認・評価します。 (フィードバック方法) 後日「添削」し返却します。 ただし、本科目の評価はGPAには算入されません。																
履修条件	履修条件はありません。																
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方や、欠席(欠席届)時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。授業を円滑に進めるために、それらをよく理解した上で履修してください。 授業を欠席した場合は、ポータルLive Campusから授業資料をダウンロードして精読するとともに、授業ファイルに保存・ファイルリングして下さい。 不明な点は担当教員に連絡し理解してから履修してください。																
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎1 授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる(B1、F1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習(120分) 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ コミュニケーション① ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、他者に伝える内容、聴く姿勢について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ コミュニケーション② ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) クラスメイトや自分がどのようなコミュニケーション方法・内容をとっていたかを振り返り、伝えるコミュニケーションのあり方を考える。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ コミュニケーション③ ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる(A2、K2)。 ③予習(120分) スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。 ④復習(120分) チーム力向上のためにはどのようなコミュニケーションが重要か自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 大学で学ぶとは① ②授業概要 授業形態と受講、ノート・レポート文書作成方法を学習(H1)し、ノートテイキング(K1)やレポートを書くようになる(H2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所やスタディスキルに関する文献を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、ノートテイキングやレポート文書作成が出来るために重要な点をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①授業テーマ 大学で学ぶとは② ②授業概要情報 リテラシー・文献検索/施設(図書館等)利用方法(F1)について学習し、実際に利用できるようになる(B1)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所を読み、スポーツ科学部の図書館、スポーツ施設、実験施設にはどのようなものがあり活用されているかweb等で調べ不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。 </td></tr> <tr> <td>7</td><td> ①授業テーマ 社会貢献活動 ②授業概要 世田谷区三軒茶屋の地域特性を学習し、清掃活動等を通じた社会貢献活動(C1)を行うことが出来るようになる(B1)。 ③予習(120分) 三軒茶屋の歴史、地域特性(伝統文化等)をweb、図書館等を利用して調べ、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 三軒茶屋キャンパスの地域特性・貢献活動を振り返り、スポーツ科学部生としての社会貢献を考察する。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎1 授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる(B1、F1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習(120分) 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。	2	①授業テーマ コミュニケーション① ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、他者に伝える内容、聴く姿勢について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。	3	①授業テーマ コミュニケーション② ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) クラスメイトや自分がどのようなコミュニケーション方法・内容をとっていたかを振り返り、伝えるコミュニケーションのあり方を考える。	4	①授業テーマ コミュニケーション③ ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる(A2、K2)。 ③予習(120分) スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。 ④復習(120分) チーム力向上のためにはどのようなコミュニケーションが重要か自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。	5	①授業テーマ 大学で学ぶとは① ②授業概要 授業形態と受講、ノート・レポート文書作成方法を学習(H1)し、ノートテイキング(K1)やレポートを書くようになる(H2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所やスタディスキルに関する文献を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、ノートテイキングやレポート文書作成が出来るために重要な点をまとめる。	6	①授業テーマ 大学で学ぶとは② ②授業概要情報 リテラシー・文献検索/施設(図書館等)利用方法(F1)について学習し、実際に利用できるようになる(B1)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所を読み、スポーツ科学部の図書館、スポーツ施設、実験施設にはどのようなものがあり活用されているかweb等で調べ不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。	7	①授業テーマ 社会貢献活動 ②授業概要 世田谷区三軒茶屋の地域特性を学習し、清掃活動等を通じた社会貢献活動(C1)を行うことが出来るようになる(B1)。 ③予習(120分) 三軒茶屋の歴史、地域特性(伝統文化等)をweb、図書館等を利用して調べ、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 三軒茶屋キャンパスの地域特性・貢献活動を振り返り、スポーツ科学部生としての社会貢献を考察する。
回	内容																
1	①授業テーマ スタートアップ ②授業概要 自主創造の基礎1 授業(担当教員、建学の精神、校歌、内容)及び、スポーツ科学部の履修登録とシラバスの説明ができるようになる(B1、F1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域をラーニングガイド、学部要覧等を利用して調べる。 ④復習(120分) 授業資料を確認して、履修登録とシラバスとの関係について理解を深める。																
2	①授業テーマ コミュニケーション① ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、他者に伝える内容、聴く姿勢について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。																
3	①授業テーマ コミュニケーション② ②授業概要 発信者と受信者のコミュニケーション学習や、1分間スピーチを通してコミュニケーション表現ができるようになる(K1、K2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドなどを通して自分のことを他者に伝える内容・方法を学習する。 ④復習(120分) クラスメイトや自分がどのようなコミュニケーション方法・内容をとっていたかを振り返り、伝えるコミュニケーションのあり方を考える。																
4	①授業テーマ コミュニケーション③ ②授業概要 スポーツを通じたコミュニケーションができるようになる(A2、K2)。 ③予習(120分) スポーツにおいて、コミュニケーションがどのように機能し、どのような役割を果たしているかについて調べる。 ④復習(120分) チーム力向上のためにはどのようなコミュニケーションが重要か自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。																
5	①授業テーマ 大学で学ぶとは① ②授業概要 授業形態と受講、ノート・レポート文書作成方法を学習(H1)し、ノートテイキング(K1)やレポートを書くようになる(H2)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所やスタディスキルに関する文献を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、ノートテイキングやレポート文書作成が出来るために重要な点をまとめる。																
6	①授業テーマ 大学で学ぶとは② ②授業概要情報 リテラシー・文献検索/施設(図書館等)利用方法(F1)について学習し、実際に利用できるようになる(B1)。 ③予習(120分) ラーニングガイドの該当箇所を読み、スポーツ科学部の図書館、スポーツ施設、実験施設にはどのようなものがあり活用されているかweb等で調べ不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。																
7	①授業テーマ 社会貢献活動 ②授業概要 世田谷区三軒茶屋の地域特性を学習し、清掃活動等を通じた社会貢献活動(C1)を行うことが出来るようになる(B1)。 ③予習(120分) 三軒茶屋の歴史、地域特性(伝統文化等)をweb、図書館等を利用して調べ、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 三軒茶屋キャンパスの地域特性・貢献活動を振り返り、スポーツ科学部生としての社会貢献を考察する。																

	8	①授業テーマ 大学で学ぶとは③ ②授業概要 プレゼンテーションの方法を学習し（H1）、初歩的なプレゼンテーションが出来るようになる（K1、K2）。 ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所や関係する文献やwebサイト等を読みを読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
	9	①授業テーマ 大学で学ぶとは④ ②授業概要 反転授業（M1）。アスリートの運動能力は進化しているのか、運動能力進化の多側面について事前学習を行い（H1、H2）、能動的に学習することが出来るようになる（F2）。 ③予習（120分） あらかじめ設定された課題（VTR文献等）を視聴・通読し講義内容を理解する。 ④復習（120分） 予習とグループワークをとおして、予習行動の必要性や学修の実感を振り返る。
	10	①授業テーマ 大学で学ぶとは⑤ ②授業概要 日本大学の歴史を担当講師の実務経験を踏まえ学習（F1）し、日本大学について説明出来るようになる（B1）。 ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所を読み、日本大学の歴史を確認する。 ④復習（120分） 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
	11	①授業テーマ 大学で学ぶとは⑥ ②授業概要 マナー講習(初級)を担当講師の実務経験を踏まえ実施し（C1）、人間関係を良好にすることや就職活動に必要なスキルを学習し、初歩的なマナーを行うことができるようになる（K2）。 ③予習（120分） マナーに関する文献やwebサイト等を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） マナーとは何か、コミュニケーション力を身につけていくこととはどのようなことなのか、マナー講習を通してまとめる。
	12	①授業テーマ 大学で学ぶとは⑦ ②授業概要 講演会(アスリート講話)。担当講師の実務経験を踏まえ一流アスリートの競技への取り組み方を学習し、競技スポーツの諸問題に対する解決能力の修得について（F1）自分の考えを述べる事が出来るようになる（H2）。 ③予習（120分） 講演予定されているアスリートはどのような競技歴なのか、その背景などについてweb、文献等を用いて事前学習する。 ④復習（120分） 講演資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
	13	①授業テーマ グループワーク① ②授業概要 ディスカッションの手法を学び（A2）、グループ内の役割・テーマを決めた上で（F2）、テーマに即したグループ毎のディスカッションを通して、発表準備が出来るようになる（H2、K1、K2）。 ③予習（120分） ラーニングガイドの該当箇所や関係する文献やwebサイト等を読みを読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 授業資料を確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
	14	①授業テーマ グループワーク② ②授業概要 各グループのディスカッションの内容をまとめた口頭発表会を通して、プレゼンテーション出来るようになる（F2、K1、K2、M1）。 ③予習（120分） 口頭発表のグループの準備を行う。 ④復習（120分） まとめおよび各グループの発表内容、自分たちの発表内容・準備等の反省点などを振り返り、伝わる発表について考察する。
	15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 各グループのディスカッションの内容をまとめた口頭発表会を通して、プレゼンテーション出来るようになる（F2、K1、K2、M1）。 ③予習（120分） 口頭発表のグループの準備を行う。 ④復習（120分） まとめおよび各グループの発表内容、自分たちの発表内容・準備等の反省点などを振り返り、伝わる発表について考察する。
関連科目		自主創造の基礎 2 [RMGT/SSCS1216]
教科書		自主創造のためのLearning Guide（日本大学での学びの基本がわかる本）
参考書・参考URL		適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 開講時に通知します。
研究比率		

